

シラバス

教 科	科 目	単 位 数	学 年	コ ー ス	組
英 語	英語コミュニケーションⅡ	4	2	文系GA	1・2・3・4組

教科書	ELEMENT English Communication II (啓林館)	副教材	Focus on Listening Standard ver.2(エミル)
			Reading CORE 3 (啓隆社), Ready to present(National Geographic Learning)

科目の目標	英語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及び
	これら結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったり
	するコミュニケーション能力を図る資質・能力をよく養う。

科目の概要	教科書のトピックを中心に、言語活動を通じて積極的に英語でコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。
	週1時間はALT主導のもとReady to Presentを用い、プレゼンテーション力を養う。
	またリスニング教材を使用し標準的なリスニング能力を養う。長文読解教材を使用し、思考力や表現力を養う。

観点別評価			
3 観 点	○「知識・技能」	○「思考力・判断力・表現力」	○「主体的に学びに向かう態度」
10 の 力	①「知力・学力」	②「課題対応力」 ③「論理的思考力」 ④「原因分析力」 ⑤「傾聴力」 ⑥「受信・発信力」	⑦「協働力」 ⑧「行動力」 ⑨「自己管理能力」 ⑩「自己実現力」
観 点 の 評 価	・英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 ・コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題などについて、情報や考え、気持ちなどを聞いたり読んだりして内容を捉え、論理性に注意して話したり書いたりして伝え合う技能を身に付けている。	・コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題などについて、必要な情報を聞き取ったり読み取ったりして、話し手の意図や概要、要点を捉えている。また、それらについて、論理性に注意して書いたり話したりして伝えている。	・外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
評 価 の 方 法	・定期試験 ・小テスト	・英語による言語活動(発表等) ・課題/活動への取り組み ・定期試験	・課題提出状況 ・単元ごとの振り返り
定期試験(5回)、課題や言語活動などへの取り組み状況、授業時の小テスト等を総合的に判断して評価する。			

学 習 計 画		
学期	学 習 内 容 (単 元)	単 元 別 学 習 目 標
1 学 期	Lesson1 ~Cultures around the World~ 1:コミュニケーションにおける文脈依存 2:ハイコンテキストとローコンテキストの国 3:ネガティブ・フィードバックの伝え方 4:相手のレンズでものを見る 【1学期 中間試験】 5月18日～21日	・「世界の文化」をテーマに、様々な言語活動を通して資質・能力を養う。 ・世界のコミュニケーションスタイルを学ぶことで、より円滑で豊かな国際コミュニケーション力を養う。 ・身につけたコミュニケーション力を踏まえて、自国の文化や海外の文化について話したり書いたりすることができるようになる。
	Lesson2 ~Power of Words~ 1:スピーチの導入と大学中退の話 / 2:点と点をつなげる話 3:愛と喪失についての話 / 4:死についての話と結論 Lesson3 ~Preconception~ 1:色と性別の関係についての疑問 / 2:18世紀と19世紀の概念 3:20世紀の概念 / 4:21世紀の概念 【1学期 期末試験】 7月1日～7日	・「言葉の力」をテーマに、様々な言語活動を通して資質・能力を養う。 ・自分の将来の夢や成し遂げたい目標について考える。 ・引用やことわざなど、言葉の持つ力を理解しそれらを場面に応じて使うことの奥深さや難しさを知る。 ・「固定観念」をテーマに、様々な言語活動を通して資質・能力を養う。 ・固定観念と向き合い、話し合うことでより生きやすい社会について考えるきっかけにする。
2 学 期	Lesson4 ~The Century of War~ 1:未知の英雄 / 2:子どもたちの命を救おう 3:名簿を瓶に入れて埋める / 4:イレーナの公開 Lesson5 ~How Our Minds Work~ 序論:偶然見つけた3つの選択肢 / 本論①:相対性によって生じる不合理な意思決定 本論②:「無料!」によって生じる不合理な意思決定 / 結論:メッセージ 【2学期 中間試験】 10月13日～16日	・「戦争の世紀」をテーマに、様々な言語活動を通して資質・能力を養う。 ・過去の過ちを語り継ぐことの意義や人権問題について考える。 ・「私たちの心のはたらき」をテーマに、様々な言語活動を通して資質・能力を養う。 ・人間の意思決定の面白さについて学ぶ。
	Lesson6 ~IT and Life~ 1:失踪のいきさつ / 2:孤児院とオーストラリアへの移住 3:インドの故郷の町の探索 / 4:故郷の町の発見と家族との再会 Lesson7 ~Advances in Medical Technology~ 序論:再生能力の人間への利用の困難と期待 本論:山中博士のiPS細胞の発明と実用化への道 結論:再生能力利用の治療法の現在と今後 【2学期 期末試験】 12月1日～7日	・5歳の頃迷子になったサルーがどのような人生をたどり、どのように故郷を見つけたのかを読み、物語を理解したり行間を読んだりする力を養う。 ・ITがどのように生活を変化させたか、またこれからどんな変化が訪れるかについて話し合ったり書いたりする。 ・再生医療をめぐるどのような議論があるか、iPS細胞とは何か、それによって医療がどう変わるかを理解する。 ・医療技術の進歩に伴ってどんな変化が社会におとずれているかを知り、より幸せな社会を築くために大切なことは何かを考える。
3 学 期	Lesson8 ~A Tiny Step, a Big Impact~ 古代:ガラスの誕生と初期の使われ方 中世:ガラスを用いた発明品 近代:さらなるガラスの応用 現在:発明品に対する考え方 【3学期 学年末試験】 3月4日～9日	・「小さな一歩、大きな影響」をテーマに、様々な言語活動を通して資質・能力を養う。 ・ガラスの歴史とガラスを用いた技術の進歩に関する英文を読み、大きな視点から物事をとらえる面白さを知る。